



地域に密着した消防団活動の推進

地域防災室

○ 消防団の特性「地域密着性」

消防団は、全国すべての市町村に設置されており、その特性の一つに、「地域密着性」（消防団員は、管轄区域内に居住又は勤務しており、地域の状況を熟知）があります。このような特性を有する消防団は、「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、火災や大規模な自然災害における活動のみならず、平常時においても、地域に密着した様々な活動を行っており、地域の安心・安全を確保するために積極的に活動しています。

本稿では、その一例として、令和2年度の消防団等地域活動表彰を受けられた、沖縄県久米島町消防団の活動を紹介します。

○ 地域コミュニティFMラジオによる広報

久米島町消防団は、毎月1回、地域コミュニティFMラジオによる広報活動を行っています。

ラジオ局のパーソナリティーとして活躍している消防団員と消防職員が、ともに番組の中で応急手当の重要性や、近年全国各地で多発している災害への備えなどの話題を生声として届け、町民への防災に関する強い意識付けを行っています。

こうした広報活動により、防火・防災思想の普及等に大きく貢献しています。



ラジオパーソナリティーの団員と収録の様子

○ 消防フェアの開催

毎年5月には、町内の児童や生徒、その保護者などを主な対象とした「消防フェア」を開催しています。

消防団員による様々なアトラクションコーナーや、消防士体験コーナーなどに参加してもらうことで、地域防災の活性化に貢献しています。

子どもから大人までが直に消防とふれ合う機会をもち、火災予防の意識高揚に繋げ、安心して暮らせる町づくりに寄与しています。

「わったー島はわったーが守る！」この合い言葉のもと、久米島町消防団は、今後も様々な活動を通し久米島町の安全と安心を守っていきます。

※「わったー」とは沖縄の島言葉で、私達や自分達という意味です。



子ども達に風船を配布（消防フェア）

○ 消防団活動の推進に向けて

このように、各地域の消防団は、地域ぐるみで参加できる様々な活動を積極的に実施しており、一人でも多くの住民に防火・防災について考えていただける機会を設けています。こうして、「自らの地域は自らで守る」という自助・共助意識を再確認していただき、今後発生が危惧されている大規模災害などへの備えを行っています。

全国の消防団員数は年々減少し続け、地域における防災力の低下が懸念されています。今回、ご紹介したような地域に密着した消防団活動を継続して行うことで、防火・防災や消防団に対する理解が深まり、一人でも多く、消防団員が増加することが期待されます。各地で実施する消防団の活動について、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

問合せ先

消防庁国民保護・防災部防災課地域防災室
TEL: 03-5253-7561